

学会  
総会

# 3年ぶり 横浜で

THE NEWS SAISEI



発行所  
社会福祉法人 済生会  
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073  
電話 03-3454-3311  
FAX 03-3454-5576  
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

# ニュース 済生



令和4年度 済生会総会

## 秋篠宮皇嗣殿下 御臨席

済生会総裁・秋篠宮皇嗣殿下御臨席の下、第75回済生会学会・令和4年度済生会総会が2月12日、横浜市のパシフィコ横浜ノースで開催され、全国から2370人が参加した。過去2回、新型コロナウイルス感染症の影響で延期・紙上開催となり、参加者が一堂に会しての会場開催は、2020年2月に新潟市で開かれて以来3年ぶり。(機関誌「済生」3月号に詳報)



済生会学会のポスターセッション

午後の総会では、昨年4月、済生会会長に就任した潮谷義子氏が会長として初めて挨拶した後、秋篠宮皇嗣殿下から「おことば」(済生会ホームページに全文掲載)を賜り、新型コロナウイルス感染症への本会職員の対応をねぎらわれた。加藤勝信厚生労働大臣(代理)・川又竹男同省社会・援護局長)や黒岩祐治神奈川県知事、山中竹春横浜市長の来賓祝辞に続き、功労職員・永年勤続職員

の表彰と患者・利用者に対するサービスの質の向上や、地域貢献など本会の名譽の向上に寄与した施設を表彰する「済生会令和賞」の表彰が行なわれた。

### 学会テーマは「済生会の変革」

学会は、保健・医療・福祉の向上に資するため各病院・福祉施設が日常的に行なっている研究の成果を発表するもので、全国の病院長が交代で学会長を務める。今回は横浜市東部病院の三角隆彦院長が担当し、「Design Our Next Road」を

令和4年度済生会令和賞に〈埼玉〉加須病院と〈愛媛〉松山老健にきたつ苑の2施設が選ばれた。加須病院は旧栗橋病院(久喜市)から加須市への移転新築にあたり、院長のリーダーシップのもと、久喜市や周辺住民との協議を重ね、円満に加須市への移転新築を実現。県北東部の三次救急医療の提供や高度医療・急性期医療を担う。旧栗橋病院では令和2年2月からダイヤモンドプリンセス号の新型コロナウイルス患者を受け入れ、令和3年3月には新型コロナウイルス専用医療施設(プレハブ棟)

## 「令和賞」に2施設

〈埼玉〉加須病院

〈愛媛〉松山老健にきたつ苑



済生会でも突出して多いコロナ専用病床で治療にあたる加須病院



身体機能が低下した利用者がVRを活用して運動している様子

77床を整備した。加須病院移転に伴い旧栗橋病院でのコロナ病棟は閉鎖したが、加須病院でも引き続き77床でコロナ診療を継続している。

〈愛媛〉松山老健にきたつ苑は、利用者へのサービスの向上と職員の業務負担軽減策として、抱え上げない介護「ノリフティングケア」の実践やVR(仮想現実)の研究を通して認知症予防効果を検証。このVRは松山市の街並みなど360度のリアルな映像を体感しながらペダルを漕ぐことで、運動機能向上とコロナ禍でも外出した気分になれると利用者から好評

を待たせたことなどが評価された。2月12日に横浜市で開催された令和4年度済生会総会、令和賞の授賞式が行なわれ、両施設に表彰状と記念の盾が贈られた。

令和賞は済生会の名譽の向上に寄与した施設を年に一度顕彰するもので令和1年に創設。患者・利用者へのサービスの質の向上や経営の改善、地域貢献など、職員一丸で取り組んでいる施設に贈られ、令和3年度からは病院(診療所を含む)と介護老人保健施設などの福祉施設等、それぞれ施設が表彰されている。

18年には群馬県総合表彰、26年には瑞宝小綬章を受章された。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



〔群馬〕前橋病院 樋口次男名誉院長が逝去

〔群馬〕前橋病院の樋口次男名誉院長が12月22日、逝去された。85歳だった。葬儀は前橋市のメモリアル前橋典礼会館で家族葬にてしめやかに執り行なわれた。樋口氏は昭和38年に群馬大学医学部を卒業後、群馬大学医学部附属病院に入職。平成4年に前橋病院院長と老健あずま荘院長に就任した。あずま荘院長は18年まで、前橋病院院長は21年まで務めた後、21年に前橋病院名誉院長の称号を授与された。

「をメインテーマに開かれた。午前8時半に三角学会長が「横浜の街が変貌していくように、組織が発展していくためには日々変化することが必要」とテーマの説明とともに開

会を宣言した。慶應義塾常任理事・医学部外科学教授の北川雄光氏が「DX(デジタルトランスフォーメーション)時代における病院の未来像」AIホスピタルモデル施設としての試み」と題して基調講演。また、俳優・気象予報士の石原良純氏が「空を見よう」と題し、宇宙飛行士の向井千秋氏が「月に住んでみたいと思いませんか?」と題して特別講演を行なった。

メインテーマを掲げたシンポジウムでは、医療DXと働き方改革をサブテーマに熊本病院の中尾

今回の学会開催に対して総会の席上、炭谷茂理事長から三角学会長に感謝状が贈られた。次回の学会・総会は2024年1月、熊本市にて開催予定で、担当の中尾院長に炭谷理事長から委嘱状が手渡された。

前日には、全国の済生会病院で臨床研修を受けている初期研修医が集まる「合同セミナー」に加え、臨床研修プログラムをさらに魅力あるものにするための「臨床研修管理担当者研修」も開かれた。

一院長が座長を務めた。千葉県済生会・兵藤敏美参事、熊本病院外来運営部・白井純宏副部長、山形特養なごま荘・会田るみ業務主管、横浜市東部病院・熊谷雅美特任院長補佐の4氏が登壇、コ

ロナ禍の中で急速に充足する社会のデジタル基盤と持続可能な働き方について議論を交わした。その他、医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、事務職など各職種が448題に及ぶ成果を発表した。

次回開催は2024年熊本で

### 高松宮記念基金にご協力ください

令和4年1月～12月分実績

◎本会会員加入状況	40,664人	80.6%
	46,267口	9,256万円
◎外部会員加入状況	2名	8千円
◎一時寄付状況	24件	68万円
(内、自販機関係)		45万円
◎募金箱		67万円

令和5年1月分実績

◎本会会員加入状況	27,326人	81.6%
	31,238口	6,253万円
◎外部会員加入状況	1名	2千円
◎一時寄付状況	5件	16万円
(内、自販機関係)		5万円
◎募金箱		4万円

### 高松宮記念基金に寄贈

キャノンメディカルシステムズ株式会社 50万円(本部扱い)



# クラウドファンディング 地域貢献目指す事業募集

本会は、昨年7月に国内最大級のクラウドファンディング事業者「READYFOR」(HP:https://readyfor.jp)との業務提携を開始し、昨年9月に第一回目の公募を実施しました。現在4つの病院が実施に向け準備中です。

その後、各支部・施設より、来年度(令和5年度)に実施する各事業について「クラウドファンディングを活用してませんか? 奮ってご応募ください。」【公募締め切り】令和5年3月6日(月)

(高松宮記念基金・令和基金対策室)



## 審議事項2件を承認 損害填補審議会

損害填補審議会が2月6日にWeb会議で開催された。

審議事項は、①損害填補金の交付について(案) (佐賀県済生会特別養護老人ホームめづら荘)、②令和5年度損害填補事業 事業計画及び同会計予算(案)の2件だった。

①「損害填補金の交付について(案) (佐賀県済生会特別養護老人ホームめづら荘)」は、令和4年9月に九州北部地方を直撃した台風14号の強風及び強風による塩害により、建物・設備に多数の破損、故障が生じ、その復旧費用3245万円を損害填補金として交付するという案件。基本事業を担当する損害保険会社が、罹災状況の調査及び査定を行ったところ、復旧費用は妥当との判断だった。

これを受けて、本審議会において審議を行なった結果、原案どおり損害填補金の交付が決定された。

## 新任施設長の抱負



大阪 特養第二大正園・ケアハウスつじ荘  
三上 久人

昭和42年生まれ。大阪府出身。平成2年慶応義塾大学商学部卒。民間企業勤務を経て、平成17年泉尾病院入職。令和4年4月庶務課長、令和4年12月第二大正園・ケアハウスつじ荘施設長に就任。

高齢化が進み、要介護者が増加するにつれ、今後ますます福祉施設の果たすべき役割が大きくなります。当施設は泉尾医療福祉センター内の泉尾病院との連携という利点を生かしつつ、地域福祉に貢献します。目指すのは、利用者さんやご家族から、「この施設を選んでよかった」と思ってもらえること。それに向けて努めてまいります。



②「令和5年度事業計画及び予算(案)」は、損害填補掛金収入を2億2700万円、保険金収入を3000万円、利息等収入を4500万円とし、収入合計を2億7500万円と見込んだ。

支出については、再保険料を6200万円、損害填補金の支払いを5300万円とし、諸経費400万円を加えて合計1億9000万円を見込んだ。この結果、令和5年度の収支差額は約1億5600万円となり、

## 2023 済生会フェア 開催支部・施設を募集

2023年度に「済生会フェア」を開催する支部・施設の募集が始まった。同フェアは地域で済生会の知名度をあげるため、支部・施設と本部が共催するイベントで、13年度の新潟県開催からスタートした。22年度は北海道済生会、広島病院、香川県済生会病院が実施済み。静岡県済生会総合病院が2月にオンラインで実施中。京都済生会病院は3月に同院で実施する予定。

募集案内は、1月11日に支部長あてに通知済み。開催支部または施設(重心も含む)から70人がオンラインで参加しているが、将来発生が予想される大地震による被害に備えたいとの考えが事務局から示された。審議の結果、原案どおり承認された。

1日目は炭谷茂理事長が基調説明。「コロナ禍こそ地域包括ケアのトップリーダーとしての活躍が望まれる。済生会は総合的な地域医療・福祉サービスを提供し、病院・福祉施設機能の拡大とソーシャルインクルージョンに基づきまじり合いに努めていきたい」と語った。

2、3日目は、高輪心理臨床研究所主宰・岸長範氏が「良い人間関係とは?」について、講義とグループワークを実施した。東日本大震災以降、福島学院大学客員教授として地域住民や学生との対話を続けるなかで、コロナ禍で看護師が感じている職場の不安は、被災地で暮らしている人々と似ていると言及した。

「コロナ禍の疲弊と無力感の中で私たちがどのように役割を生きるか」をテーマにした意見交換では、話し合うこと、分かち合うことの大切さを共有した。受講者の多くが涙を流し、「明日から頑張る」といった声が寄せられた。

審議の結果、原案どおり承認され、理事会及び評議員会へ上程される。(厚生課)



香川県済生会病院フェア



広島病院フェア

## 積立は約36億5千万円 退職手当等運営委員

退職手当等運営委員会が2月8日、オンラインで開かれた。

冒頭、今年度実施した数理計算(財政計算)の結果が報告された。今後、低金利が続けば、保有資産の不足が見込まれるが、直ちに財政状態が深刻になるとは言えず、今後の金利動向を注視して運営していくこととされた。

議案は「令和5年度退職手当等事業計画及び同会計予算(案)」の1件。同年度の登録者数を1万458人、支給対象となる退職者数を617人と予測した。これらをもとに、積立金収入を36億5462万円、支出される退職手当金を26億7716万円と見込んだ。

設(重心も含む)から70人がオンラインで参加しているが、将来発生が予想される大地震による被害に備えたいとの考えが事務局から示された。審議の結果、原案どおり承認された。

1日目は炭谷茂理事長が基調説明。「コロナ禍こそ地域包括ケアのトップリーダーとしての活躍が望まれる。済生会は総合的な地域医療・福祉サービスを提供し、病院・福祉施設機能の拡大とソーシャルインクルージョンに基づきまじり合いに努めていきたい」と語った。

2、3日目は、高輪心理臨床研究所主宰・岸長範氏が「良い人間関係とは?」について、講義とグループワークを実施した。東日本大震災以降、福島学院大学客員教授として地域住民や学生との対話を続けるなかで、コロナ禍で看護師が感じている職場の不安は、被災地で暮らしている人々と似ていると言及した。

「コロナ禍の疲弊と無力感の中で私たちがどのように役割を生きるか」をテーマにした意見交換では、話し合うこと、分かち合うことの大切さを共有した。受講者の多くが涙を流し、「明日から頑張る」といった声が寄せられた。

## 岩手県済生会 寄贈

- 菊池孝幸殿 100万円 (北上済生会病院へ)
- 東京都済生会
- 小倉律子殿 600万円
- 宮本光敏殿 100万円
- 六島 寛殿 20万円
- 吉田昌弘殿 300万円 (中央病院へ)
- 三重県済生会
- 津村みち殿 1億1400万円 (明和病院へ)
- 滋賀県済生会
- 日本中央競馬会栗東トレーニングセンター殿 医療機器(2800万円相当)
- (滋賀県病院へ)
- 大阪府済生会
- 原田禮子殿1000万円 (北村園へ)
- 兵庫県済生会
- 金田康敬殿 200万円 (兵庫県病院へ)
- 鳥取県済生会
- 河内哲夫殿 自動体位変換エアマットレス40台(460万円相当)
- (境港総合病院へ)
- 愛媛県済生会
- 松野 剛殿 50万円 (今治病院へ)
- 畑山健司殿 108万円
- 高瀬達夫殿 100万円 (西条病院へ)

関東学院大学・金井Pak雅子教授は「より輝ける看護師を目指して」と題し、中堅看護師に期待される役割やコミュニケーションスキルを解説。「中堅看護師は組織を俯瞰して問題を理論的かつ構造的に考えることが重要」と訴えた。



(看護室)

# みんなが便利に、効率的に。 年末調整Web申告

今年ももっと楽に!

従業員の申告画面を動画でチェック



最短1分  
申告\*

水戸済生会総合病院様もご利用中

\*追加や修正がない場合

さくら情報システム

50th Anniversary

さくら情報 年末調整

https://www.sakura-is.co.jp/lp/nencho/



**HOCHIKI**

●写真は、ロンドン・セント・パンクラス駅

明日の世界に安全と安心をお届けします

ユーロスターの始発駅として知られる、ロンドンのセントパンクラス駅。ここでも、当社の「火災感知器」が皆様を見守っています。「製品を通して世界に安全と安心をお届けする。」それが、私たちの使命です。

**ホーチキ株式会社**